

室方針

副理事長 総務室担当 田中寿興

『誠』を以って組織を支える

春日部青年会議所は愛する郷土の発展と人間性の向上を目的に掲げ、今日まで地域に向けた運動を展開して参りました。

そしてその背景には崇高なる目的に向かって挑み続けてこられた先輩諸兄の不断の努力があります。今我々がこの地域で運動を展開できる事に深く感謝いたします。

総務室ではこの脈々と受け継がれていく春日部青年会議所の歴史に恥じる事のない、そして地域から信頼ある組織であり続けられるよう運営を行っていかねばなりません。

本年度、総務室ではLOMの根幹を担う室として、総会、理事会に関する設営はもちろん、資料及び備品管理の徹底、そして常に組織全体に目を配らせ、迅速な対応を以てメンバーからの付託と信頼に応えて参ります。また春日部青年会議所としての誇りを確固たるものとする為に、薄れさせてはならない組織の規律をしっかりと継承し、LOMの規範として行動して参ります。

そしてもう一つ、公益社団法人としてより一層の社会的信用と存在意義を得る為に、厳格な財務の適用と管理及び透明化を図る事に力を注ぎ、磐石な組織運営を行って参ります。

磐石な組織運営は、日々多様化し続ける地域の課題に挑み続けるメンバーにとって、互いに相乗効果をもたらし、一丸となって運動に果敢に取り組む事の出来る基盤となると確信しています。総務室はこれを信念とし一步一步着実に邁進して参ります。

最後に一年を通して春日部青年会議所が持つ最大限の力を発揮できるよう、課せられた職務に、誇りと使命感を以て取り組む姿勢『誠』を胸に活動して参ります。

一年間、宜しくお願い致します。

基本方針

総務財務委員会 委員長 馬場茂明

全力サポート

地域の未来に理想を描き、愛する郷土の発展と人間性の向上を目的に春日部青年会議所は設立されました。この目的のもと、多くの先輩諸兄による地域に向けた想いの結晶が集まり、今では地域になくてはならない、住民から愛され、信頼される魅力ある組織として春日部青年会議所は存在しています。

私達はこの歴史と信頼をこれからも色あせ、絶やすことのないよう未来に繋ぐ運営をして参ります。

総務財務委員会は、先輩より受け継がれてきた誇りある春日部青年会議所の規律を守り継承し、組織を支える委員会として、自覚をもって行動していかなければなりません。まず初めに、全会員の総意をもって春日部青年会議所の方向性を審議する最高意思決定機関である総会について、多くのメンバーにその重要性を訴え、参加を促してまいります。また、理事会についても例会・事業の執行を決定する大変重要な場であります。多くの議案が上程される理事会は円滑な開催が求められます。その為、事前準備の徹底と他の委員長との連絡をしっかりと取り、議案の提出日や配信日などの期日を厳守して参ります。そして理事会での資料は春日部青年会議所の財産です。その財産を未来に繋げるべく、使いやすいデジタルアーカイブを作成していきます。

そして、組織全体の財務状況の把握や、例会・事業の予算を決定する財務確認も重要です。春日部青年会議所の運動を支える大切な会費を、明瞭かつ厳格公正に管理をし、公益社団法人としての社会的信用の向上を目指して参ります。

地域の未来を描くうえで、地域の多様化・複雑化している問題に果敢に挑み続けるためには、この組織の発展がなにより重要だと考えます。総務財務委員会は組織運営の根幹であると同時に、春日部青年会議所メンバーの規範となり、組織としての一体感を強め、我々の運動を、地域へ力強く発信するための縁の下での力持ちとなることをお誓い申し上げます。その為自ら率先して、任された職務を名誉ある事と思い取り組む姿「誠」を貫き活動してまいります。

一年間、宜しくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 定款、諸規定に関すること。
- (2) 総会・理事会の設営及び関連資料の作成
- (3) 会員名簿の完備、ハンドブック・名刺の作成
- (4) 褒章、表彰に関すること。
- (5) JC ルームの管理及び物品備品の保管、管理に関すること。
- (6) デジタルアーカイブ（各資料のデジタル化と管理）に関すること。
- (7) 例会・事業に於ける会員の出欠記録及びオブザーバー参加者の出席記録に関すること。
- (8) 財務管理に関すること。
- (9) その他各委員会に属さない事項。
- (10) 会員の拡大に関すること。
- (11) 中期運動指針に関すること。
- (12) 全国大会埼玉中央大会に関すること。
- (13) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

室方針

専務理事 広報室担当 栄 寛美

誠意ある行動が人の心を動かす

創立より 52 年にわたり公益社団法人春日部青年会議所の歴史を紡いでこられた先般諸兄に敬意を表するとともに、地域の皆様の支えにより私たちはこれまで運動を続けてこれたことに感謝申し上げます。

広報活動は地域の皆様に対して、私たちの行う運動の意義や魅力的な活動を知って頂き、多くの賛同を得ていくため重要です。そのため私たちの団体を広く知って頂き、実際に参加して頂ける、人の心を動かす発信をする必要があると考えます。また、相手に想いを伝えるのでも、世の中の便利なツールに甘んじることなく、相手の目を見て相手に伝える、心ある広報活動について今一度、模索する必要があると考えます。そのため本年は「人の心をつかむ丁寧な」広報活動を実践することにより、その情熱を地域の方々に伝える地道な取り組みをして参りましょう。

私たちの活動する地域には、各種団体や先輩諸兄、行政など日々地域の為に取組まれている多くの方がおり、私たちが力強く運動展開を出来るのは皆様のご理解、ご協力があるからです。協力を得るためには信頼関係が前提であり、その信頼は一朝一夕で成るものではなく、これまでと変わらぬ良好な関係を構築するためには渉外活動が必要なのです。本年は、LOM の窓口として関わる他者に対して「感謝の心」が伝わる、誠意ある渉外活動を行いましょう。

また、本年も公益社団法人日本青年会議所、関東地区、埼玉ブロック協議会へ多くのメンバーが出向します。出向は、他の LOM メンバーとの交流を通じて新たな価値観に触れ、研鑽することで自身を成長させることの出来る貴重な機会です。LOM の看板を背負って出向するメンバーを心から支援して参ります。加えて、全国大会埼玉中央大会が開催される本年は一層の協力体制を整え、各種大会をメンバーの成長の機会と捉え積極的に参加して参りましょう。

本年は「誠」を旗印に運動を展開して参ります。誠意ある行動の積み重ねは相手から信用に足る人だと認識され、それはやがて人の心を動かすことのできる信頼となります。

そのため対外的に人と関わる広報室では、その信頼関係を構築するために、「誠意」ある行動を心がけて参りましょう。

一年間、宜しくお願い致します。

基本方針

広報渉外委員会 委員長 小林 康利

己を尽くして信頼を築く

今日の私たちの活動は、創立以来、春日部青年会議所の長い歴史の中で培われてきた組織の信用を基盤に成り立っています。そして、私たちの組織に対する多くの賛同をいただき、この地域に寄り添いながら歩んできました。これからも、地域にとって必要な団体として在り続けるためには、関係諸団体の皆様からの変わらぬ理解と協力体制を築くことで、地域の皆様との共感を生みだしていかなければなりません。

そのため本年度の広報活動では、共感を得るために、より多くの市民に対して私たちの活動を知ってもらい、組織をもっと身近に感じてもらう広報を展開して参ります。そこで、引き続きウェブサイトや SNS を利用した情報発信のほかに、放送メディアや記者クラブとの連携を図ります。私たちの「まちづくり」や「ひとづくり」の取り組みを広く発信し、地域の皆様が目にする機会を創出して参ります。

その一方 LOM 内では、メンバーの心を動かす誠の広報活動が必要と考えます。メンバーに対する連絡や要請の際には、メールや SNS といったツールだけに頼ることなく直接、各委員会まで訪問・取材を敢行し、メンバーの心にはたらきかける PR の製作や情報の収集・発信をしていきます。

渉外活動においては、春日部青年会議所に対する信用を守り、相手方に誠意ある行動を積み重ねることで、より一層の信頼関係を構築して参ります。そこで、組織の窓口として、外部との連絡や情報収集を行い、全メンバーに迅速かつ正確に伝達していきます。

また、特に全国大会埼玉中央大会が開催される本年度は、副主管青年会議所の担いをメンバーに周知し、外部からの要請や依頼に対して誠意をもって対応して参ります。

こうした青年会議所の各種大会は、貴重な学びを得られる場であると共に、LOM を代表して出向しているメンバーに励ましの声を届ける機会でもあります。そのため、メンバーの各種大会に対する参加意識を高め、一人でも多くのメンバーで大会現地に赴きたいと思えます。そして、出向者が得た学びや経験は LOM メンバーに刺激を与えることが出来るため、LOM に還元する機会を創出して参ります。

日頃の JC 活動では、多くの人々の理解と協力が支えとなっていますが、家族や職場の社員といった一番身近な人たちの支えを得ることなしには邁進することができません。だからこそ、私たちは一番身近な人たちからの理解と協力に感謝しなければなりません。今後も JC 活動をより意義のある充実したものとするために、そうした人たちに対する感謝の想いと JC に懸ける熱い想いをしっかりと伝える機会を創出して、より一層の理解と協力を獲得

して参りましょう。

「至誠にして動かざる者は、未だ之あらざるなり」

“この上もない心を尽くせば、相手は必ず心動かされる”という所以を委員会メンバーが実践すると共に LOM の運動発信の根幹になるという強い気概をもって LOM のため、メンバーのために誠を尽くして参ります。

一年間、宜しくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 専務理事の補佐。
- (2) 新春賀詞交流会に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (3) 10 例会の調査・研究・計画・立案・実施。
- (4) 慶弔に関すること。
- (5) 広報に関すること。
- (6) 公益社団法人日本青年会議所・関東地区協議会・埼玉ブロック協議会との連絡調整。
- (7) 各種大会の案内・手配及び出向者に関すること。
- (8) 行政その他、地域の諸団体との渉外。
- (9) 例会・事業等に関する資料・写真・映像などの収集及び管理。
- (10) ホームページの管理。
- (11) じゃがいもに関すること。
- (12) 同好会に関すること。
- (13) 会員の拡大に関すること。
- (14) 中期運動指針に関すること。
- (15) 全国大会埼玉中央大会に関すること。
- (16) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

室方針

副理事長 地域室担当 工藤 慶

郷土愛から生まれる心の豊かさ

人は誰もが自身や家族が幸せな生活を送れる真に豊かな社会を願っています。真に豊かな社会とは日常生活が豊かであるのと同時に心も豊かでなければなりません。

戦後の高度経済成長に伴い、物が何不自由なく手に入れることが出来、テクノロジーの発展により店に出向かなくても買い物が出来る、会わなくても会話が出来るなど大変便利な生活を送ることが出来るようになりました。しかしながら、物の豊かさを得た一方、「心の時代」とも言われるように心の豊かさにおいてはさまざまな課題を抱えています。自己を優先した利己的な考えから生まれる問題やトラブルからもわかるように、現代社会が本来あるべき人と人とが関わり合いながら生活していく心のつながりがある社会ではなくなってしまったからではないでしょうか。

我々の活動する地域においても同様であり、この現状を解決していくためには「まち」を形成する人の個々が、この問題を自分事として捉えられるようになり、問題解決のために地域社会の一員として参加し、参画して自分たちのまちは自分たちが創るのだという主体性を持ち率先した行動を取れるようにならなければなりません。その為には今、この「まち」にはどんな問題があり、何が必要なのか、どのように取り組む必要があるのかを多くの人と共有し関心を持ってもらうことが必要です。

また、地域には心のつながりを再生するためのすばらしい魅力が必ずあるはずです。この魅力を多くの世代を通した関わり合いの中から再認識をし、今の時代に合ったかたちへと昇華させていく事で新たな魅力となり、郷土に対する愛を芽生えさせることでしょう。

地域の人と子ども、そして親を結んだ循環の輪が生み出す大きなスパイラルによって郷土愛あふれた人々に満ちあふれ、主体的に地域に関わり自立した「まち」となり、人と人とが日常的に関わり合い助け合うことができるつながりある社会となるはずです。

我々市民は地域の未来を決めることのできる選挙権という非常に重要な権利を有しております。しかしながら、政治不信等により近年の選挙における投票率の低下という課題に直面しています。昨年、選挙権が18歳に引き下げられたことにより関心が高まりつつあるこの時に、政治や選挙に関する正しい知識を広め、自分たちのまちは自分たちが創る意識の一つとして、自分たちの代表者がどんなビジョンを持っているのかを確認する機会を提供し、政治への関心を高める働きかけをして参ります。

我々はこの意識変革運動の中心である組織のメンバーの一員であることを意識し、地域に寄与できる人財となるべく日々自己研鑽を重ねていかなくてはなりません。

中期運動指針に則って新規事業が開始される本年、創始から受け継がれてきた精神と誇りをしっかりと胸に刻み、己に甘んじることなく常に誠実さと志を忘れずに活動して参りましょう。

一年間、宜しくお願い致します。

基本方針

愛するまち循環委員会 委員長 谷澤 敏幸

魅力伝道師

戦後日本はたゆまぬ努力により、高度成長期から駆け足で成長し続けることが出来ました。物質的な豊かさやネット環境や情報通信の進化による恩恵を受けている一方、人との関わりが少なくなっていることなどから人としての心の豊かさについてはむしろ乏しくなっているのではないのでしょうか。

一度立ち止まって、目の前の環境を見てみましょう。

自分たちの地域の魅力や変化、そこに住まう身近な人々の声をどのくらい感じていますか？

心の豊かさを育むには、多くの人とふれあい心の交流を持つことが重要だと考えます。その為には、自然と人々が集まり、交流が生まれるような、人と人がつながる地域にする必要があります。

地域にはそれぞれ文化や伝統といったその地域個々の魅力が存在します。地域に住まう人はその魅力のすばらしさに気付くことで、郷土に対し愛着を持ち自信と誇りを持つことができます。また、この地域に住まう人以外の人は郷土愛あふれた人たちが発する地域の魅力に惹かれその地域に足を運びたい、その魅力に触れてみたいと思うことでしょう。

そうすることで自然と人々が集まり、交流が生まれるような人と人とがつながる地域になっていくのだと考えます。

ですが、現在まちに住まう人々から見て、そこにある地域の魅力は存在することが当たり前のように慣れてしまい、気付いていないのではないのでしょうか。そのようなことから、地域の魅力についての対外発信力が弱くなってしまい地域の魅力に共感した人々が集まる機会が失われ、人と人との関わりが希薄化してしまっているのではないかと考えます。

地域の魅力を掘り出し、理解・再認識をし、多くの人に伝えることで地域の魅力に気づいてもらい、そこから派生させて更に大きな人と人とのつながりを作ることが出来ます。

そこで、2015年に制定した中期運動指針である郷土愛循環運動に則り、子供たち自ら調査・研究し、「まち」の人が魅力を伝え、発見した魅力を子供たちから親へ伝えることで、親世代が関心を持ち、地域活動に参画してもらいたい。そしてその魅力を多くの人に受け入れやすいかたちに昇華させることで、また人から人へとつなげます。

今年度、春日部青年会議所メンバーがつながりの大切さを一番に意識し、「まち」に住まう人々の心を動かす運動を行ってまいります。そして、地域の人に地域の魅力を調査・発見してもらうには、先ずはメンバー自らが地域の魅力を知り伝えられる、そんな地域の魅力伝道師となってまいります。

一年間、宜しくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 郷土愛の循環する地域の創造に向けた調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 7月例会の調査・研究・計画・立案・実施。
- (3) 会員の拡大に関する事。
- (4) 中期運動指針に関する事。
- (5) 全国大会埼玉中央大会に関する事。
- (6) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

基本方針

愛する地域創造委員会 委員長 関根 晋太郎

人と地域のつながり、未来へつなげる

私達、公益社団法人春日部青年会議所は、明るい豊かな社会の実現を目指し先輩諸兄が、青年としての英知と勇気と情熱をもって、愛する地域の為に運動を積み重ねてこられました。我々、愛する地域創造委員会では本年度その運動の歩みをさらに進めるべく運動を展開して参ります。

現在、この地域で暮らしている人達は日中区内や県内の都心部で働いている人も多いことや、現代ではあらゆる情報や物はTVやインターネットを通して入手できてしまうことで、地域のコミュニティに参加せずとも生活に不自由をしなくなっています。また、人と関わることによる余計なトラブルに巻き込まれたくないという思いや、地域の人と関わるのが面倒だと感じてしまうことで、地域の他の人に対しての関心が薄れてきてしまっているのではないのでしょうか。

それでは利己的な考えが蔓延し我々の目指す、明るい豊かな社会の実現は難しいと考えます。明るい豊かな社会の実現の為には、まずはこの地域に住まう多くの人達がお互いに助け合い、地域の人にそして地域にも関心を持つ人が多く、思いやりがあふれる地域になることが重要だと考えます。

本年度、愛する地域創造委員会では地域とのつながりが少ない若年層や新しくまちに入ってきた人達に対し、今ある町内やサークルなどの既存のコミュニティを紹介すると共に魅力を発信し、地域の文化や魅力を通じて人と繋がる機会をつくり、まちに新しいつながりをつくりたいと考えております。

また、現在この地域では投票率は大変低い水準となっております。それは、自分の投じる一票が地域の未来に関わっているということを感じておらず、政治や投票への意識が低下し自分事としてとらえていないからではないかと考えます。ですが、その地域の未来は地域に暮らす全ての人達の選択により作られるものです。未来に暮らす若者や子供たちが希望を持てる地域にする為には、自分達の地域は自分達でつくったのだと思える人が多く暮らす地域にする必要があります、選挙権を有する18歳以上の有権者に対し、政治の知識を学ぶ機会と地域の代表者のビジョンを地域の人々へ届ける場を提供することが必要であると考えています。そのような政治の基礎知識の啓発、地域が現在抱えている問題の提起を行うことで、地域に住む人達の政治への関心を高めたいと考えております。

我々春日部青年会議所メンバーがまちの一番のファンになり、率先してまちに暮らす人の魅力、また地域が持っている魅力を発信し、未来への希望をこのまちに暮らす一人でも多くの人に届けることです。そしてともにまちの魅力を語り地域が抱える諸問題に対しても主体性をもって取り組む多くのまちのファンをつくり、これからの地域を創る若者たちが未来に希望を持てるまちにするべく運動を行ってまいります。

一年間、宜しくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 郷土愛の循環する地域の創造に向けた調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 藤まつりへの参加。
- (3) 会員の拡大に関する事。
- (4) 公開討論会に関する事。
- (5) 中期運動指針に関する事。
- (6) 全国大会埼玉中央大会に関する事。
- (7) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

室方針

副理事長 国際室担当 越前谷 一彬

『OMOIYARI』のころ

公益社団法人春日部青年会議所は設立当初より世界の平和と発展に寄与するため国際的理解と親善の助長につとめ、1986年にはアメリカ カリフォルニア州 パサディナ青年会議所と姉妹青年会議所となりました。それからは両JC間の相互理解と友情を深めるために毎年交互に訪問を行ってきましたが、それにより両国にかけがえのない絆が築かれました。この32年の長期にわたる国際交流の歴史に敬意を表すのと同時に、この運動を支えてくれた先輩諸兄のご尽力並びに両地域の方々のご協力に深く感謝申し上げます。

近年、日本と世界とのかかわり合いはさらに深まり、直接外国人と接する機会が急激に増えています。それぞれの国や地域で育った人には、その地で育まれた伝統や文化・風習を身に付け、それらを基にしたその人独自の価値観があります。それについて理解していないと、互いの価値観の違いから衝突が起こってしまいます。価値観が異なる人と理解と友情を深めるためには、お互いに相手のことをよく知らなければなりません。そのためには私たち自身が“世界の情勢を見る国際的な広い視野”“相手を理解しようとする気持ち”といった感覚を磨き、そして互いに話し合いで解決できる良好な協力関係を築きましょう。

本年度もパサディナから多くの仲間がいらっしゃいます。そのなかには初めて日本に来る人や日本のことをよく知らず、不安な人もいるでしょう。そのような人がいたら、相手を思いやり、その人を家族として温かく迎え入れてほしいと考えます。なぜなら何気ない心配りがある家族のつながりこそ人の心の温かさを感じられ、もっとも強く結ばれた人と人との縁だからです。日本という環境で育まれた『OMOIYARI』をもって接することで、温かい心通った理解と友情を育みましょう。

また国際化の進むこの時代、これからの地域を担う青少年にも積極的に国際交流を行っていただきたいと考えます。これまで国際交流によって互いの文化の魅力を受け容れ、才能を開いた人は数多くいます。国際交流は彼らにとっても大きな感動や未来に歩もうとする強い力を与えるでしょう。そして大きく成長した彼らは、これから素晴らしい社会を創造してくれるものと信じます。

この交流が恒久的な友好に繋がることを願い、『OMOIYARI』のころ『誠』を示して力強く活動して参ります。

一年間、宜しくお願い致します。

基本方針

国際交流委員会 委員長 豊田 敦志

来てくれてありがとう

1986年から続いている春日部青年会議所とパサディナ青年会議所の国際交流事業パサディナホームステイプログラムは、「両JC間の理解と友情」「地域社会の国際化」を基に相互訪問を行っており本年度で32年目を迎えます。これまでに沢山の地域の方々の御参加や御協力もあり、多くの出会いと交流を重ねて友情を深めてきました。

私は2年前、春日部青年会議所のパサディナホームステイプログラムを機に初めて国際交流の経験をさせて頂きました。英語を全く喋る事が出来ない為、気持ちを上手く表現する事が出来ないと思い不安でしたが、パサディナメンバーの気遣いもあり次第に相手の表情や仕草等から相手の求めている事が解る様になりました。この時に自分から歩み寄り、誠意や思いやりを持って接すれば、たとえ言葉が通じなくても理解しあえると言う事を知りました。また昨年、渡航させて頂いた際にパサディナメンバーは私達の訪問に対して本当に快く受け入れて下さりました。彼等の自宅に招かれた際には今までのプログラムの写真が丁寧に飾っており、パサディナメンバーが嬉しそうに話してくれている姿にまるで家族の様に思ってくれているのだと、嬉しさが込み上げてきました。

32年間、このプログラムに携わった多くの方々により築き上げられてきたパサディナ青年会議所との家族の様な関係を、私達春日部青年会議所メンバーは次の世代へと継承していかななくてはなりません。その為に「両JC間の理解と友情」を更に深める必要があります。受け入れの年である本年には、『OMOIYARI』のこころを大切にしておもてなしを致します。皆様には国際交流の楽しさを知って頂き、また相手を理解する事、『OMOIYARI』について学ぶ場を設営します。そして今でも友好的な関係を続けてくれているパサディナ訪問団の皆に、来てくれてありがとうの気持ちで迎え入れましょう。

国際化が進んでいる現在、多くの海外の人達が身近で生活をしている中で、海外の人達と接する事は決して他人事では無くなってきています。ホームステイプログラムでは地域社会の国際化を推進する為に様々な運動を行っていますが、地域社会の国際化は青年会議所のみではなく、地域の方々そして地域の未来を担う学生の方々の参加や協力が必要です。

このプログラムでは実際に遠い地にあるパサディナから来てくれた仲間達との出会いや対話を通し、より身近に異文化を知る事で自身の中に国際社会への興味や関心が芽生えます。また新しい価値観を得る事で自身が当たり前と思っている環境、考え方を見つめ直す貴

重な機会となります。そして地域の方々や学生の方々にはパサディナの人達との交流を通してお互いの価値観の違いを理解し、国際的な視野と相手への『OMOIYARI』のこころを持った相手の気持ちを考えられる人になり、相手から信頼を得られ良好な人間関係を築く事で多くの人達との友情の輪が広がる事でしょう。

この交流を続ける事により両地域の友情が育まれ、家族の様な関係の輪が人から人へ、そして次世代の学生へと広がっていく事で、国際交流を基にした人のつながりの素晴らしさが地域へと浸透していきます。そして地域の人達が国際社会に目を向けるようになり、「地域社会の国際化」へと繋がります。

これまでプログラムに参加した事がない多くの人達に御参加頂く為にも、本年度国際交流委員会はパサディナ訪問団との家族の様な関係築く架橋となり、これまで行ってきたプログラムの情報を発信し、参加者の皆様が笑顔で参加したいと思える運動となるよう取り組んで行きます。そして誠心誠意委員会運営を行い、生涯忘れられない感動を用意させていただきます。

一年間、宜しくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 国際交流に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 4月例会の調査・研究・計画・立案・実施。
- (3) パサディナ青年会議所との交流事業の調査・研究・計画・立案・実施。
- (4) 会員の拡大に関する事。
- (5) 中期運動指針に関する事。
- (6) 全国大会埼玉中央大会に関する事。
- (7) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

室方針

副理事長 育成室担当 岡田太陽

正しい生き方

公益社団法人春日部青年会議所は設立当初より愛する郷土の発展と人間性の向上を目的に活動してまいりました。その長い歴史の中で一貫して取り組んできたのが「人づくり」にあります。私たち青年経済人が自己研鑽に励むと同時に、特に児童又は青少年の健全な育成に関わる活動に力を入れてきました。これは「ひとづくり」こそが、我々が住まうこの地域の「まちづくり」に他ならないと考えるからです。私たちは率先して青少年をどう育むかを真剣に考え、将来この地域を力強く担っていく「ひとづくり」運動を展開してまいります。

青少年の健全な育成とは、心身ともに健全であることが目的とされるべきです。しかし、ここ数年やや改善傾向にあるとはいえ、子どもたちの体力の低下は1985年以降顕著にあらわれています。これは、近年の都市化や少子化、地域社会における人間関係の希薄化など子どもたちだけではどうしようもない社会変化に伴って、多くの仲間とスポーツを楽しんだり外遊びをしながら仲間とコミュニケーションを深める機会が少なくなっていることが要因であると考えます。そればかりかこのような流れにおいて、友だちや様々な年代の人と関わり合う中で育まれるべき道徳観、正義感が身に付けられていないのではないのでしょうか。

私たちは地域の青少年に、多くの仲間とともに体を動かし、その中で多くのコミュニケーションの場や出会いや関わり合いをもつ場を提供し、身体だけでなく心の成長を促します。スポーツにおいて重要なものは勝敗だけではありません。スポーツマンシップと称される仲間を大切にする心、相手への敬意、礼節など、自分のことばかりを考えることから一歩踏み出してほしいと考えます。この成長が、将来この地域を担っていく青少年には必要なのです。

まずは、私たちメンバーが大人として恥ずかしくない『誠』の姿勢で青少年に向き合い、青少年の目指すべきお手本となるような正しい生き方を日々追求し示していこうではありませんか。ともに、あるべき『誠』の姿を追求すべく真摯に学び続けていきましょう。

一年間、宜しくお願い致します。

基本方針

次世代育成委員会 委員長 西澤賢一

身心一如

公益社団法人春日部青年会議所は設立当初より愛する郷土の発展と人間性の向上を目的に運動を展開してまいりました。その長い歴史において継続されるひとづくり運動に私たちは、常に真剣に向き合わなければなりません。なぜなら、私たち大人の背中を見て育つ青少年たちがこの地域の未来を造っていく一員になるからです。

この地域を力強く担っていく青少年の育成において大切なのは心身共に健全であるということです。健全な身体は生きていく上で必要不可欠な事です。そして心と身体は大きく関わりあっています。私たちが育むべき健全な心とは、思いやりの心と最後までやり抜く強い心です。最後までやり抜く強い心を持つことで、青少年の成長の過程にある様々な困難に諦めずに立ち向かえるようになります。さらに仲間がいればより大きな困難に立ち向かえます。相手を敬い、尊重し思いやる心を持つことでより多くの仲間ができるはずです。これらの心を持つことでさらに健全な身体を育むことにつながります。

昨今の青少年を取り巻く環境は著しく変化をしてきました。テレビゲームやインターネットが普及し室内において一人で遊ぶことが増え、外で仲間と運動する機会が減った為体力の低下を招いています。また情報通信の発達により、顔を合わせた人と人との交流が減り、感情を感じ取る機会が減りました。そのため仲間と感情を分かち合う機会が減り、人に対して真剣に向き合ことが減りました。これらにより人を思いやる心が育ちづらくなり、仲間と共に困難に立ち向かい乗り越える力が育まれづらい環境になったと感じます。

本年度で8回目を迎える小学生ドッジボール大会を通じて、青少年たちに、仲間と同じ目標に向かって真剣に取り組む機会を作り、思いやりの心と、諦めない強い心を育む場を作ります。仲間と同じ目標に向かって真剣に運動する課程で、直接顔を合わせる交流が増え、人の感情を直に感じ取る機会が増えます。その感情の伴った交流が、様々な困難に出会った時自分本位ではない、仲間を思いやる心を育むきっかけとなるはずです。また、信頼関係を築きその仲間と困難を乗り越えた達成感や喜びを感じ分かち合うことにより、諦めずに最後までやり抜く強い心を育みます。

また、身近にいる私たち地域の大人の行動や振舞いは常に青少年たちに影響を与えています。その為、私たち自らが模範となるべく、身体と心を基に行動を起こすということに着

目し、行動の本質を追求して参ります。正しい行動を起こすことができれば私たちの運動にさらに磨きがかかり、この地域の青少年たちにより力強く発信できるはずです。

私たち自身が自分と真摯に向き合い自己研鑽を続け、正しい生き方を追求し責任ある行動を起こしていきましょう。そのような大人の背中を見て育った青少年たちはきっと、この地域を愛し力強く守ってくれる大人へと成長してくれるでしょう。

一年間、宜しくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 次世代の育成に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 小学生ドッジボール大会の計画・立案・実施。
- (3) 11月例会の調査・研究・計画・立案・実施。
- (4) 会員の拡大に関する事。
- (5) 中期運動指針に関する事。
- (6) 全国大会埼玉中央大会に関する事。
- (7) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

室方針

副理事長 会員室担当 鈴木 健太郎

ひとの心を動かすために

地域が発展するためには、そこに住まう人々が、そこでの問題を自分事と捉え、解決へ向けて主体的に取り組む姿勢、つまり、主体者としての意識を持つことが不可欠です。春日部青年会議所は、愛する郷土の発展のため、地域の方々に、主体者としての意識をもっていたくためのさまざまな運動を展開しています。

春日部青年会議所が、今後も力強く運動を展開するためには、会員数を維持・増加していかなければなりません。しかし、近年は、地域への関心の低下や厳しい経済事情もあり、会員数は減少傾向にあります。これは、組織の存亡に関わる重大な問題です。今こそ、春日部青年会議所の真価が問われています。改めて、会員間で、春日部青年会議所の存在意義を確認し、危機感をもってこの問題に取り組みましょう。会員室は、OB諸兄の協力も得ながら、メンバーの先頭に立って拡大活動を行ってまいります。

また、会員拡大活動は、この地域に住まう青年の意識に、最も直接的に訴えかけることのできる運動としての側面も有しています。つまり、会員拡大活動により、同じ価値観を共有する仲間を増やすことができれば、それだけ、私たちの理想に近づくことができるのです。

しかし、人の心を動かすことは簡単ではありません。私たちは、まず、どうすれば地域の人々の心を動かせるのか、そのためには私たち自身に何が必要なのかを追究する必要があります。そして、自分たちの姿勢や行動がそれに則したものとなっているか、常に己に問い続けていかなければなりません。地域の方々に共感していただける道德観を追究し、それに従い行動する姿勢～「誠」～を纏って、仲間たちとともに、高みを目指して活動してまいります。

一年間、宜しくお願い致します。

委員長方針

誠の心向上委員会 委員長 山口 隆顕

心を育てる

創立より春日部青年会議所は愛する地域の発展と人間性の向上という目的を掲げ、市民の意識を変革する活動に取り組んでおります。

この意識を変革する活動とは、言い換えれば地域の方々の心を動かす運動であります。

人は自分のためだけではなく、人のために、地域のために自分にはどういうことが出来るのか、どういうことをしていったら良くなるのかと考え、率先して行動している人を見たときに共感が生まれ心が動かされるのではないのでしょうか。

しかし、私たちはそのことを強く意識出来ているのでしょうか。

地域の方々の心を動かすために私たちに何が必要なのか、どういう行動や振る舞いが共感を得るのかと強く認識していますか。この問題を一人一人が真摯に受け止め、考え、会員同士で共有し、行動に移していかない限り地域の方々の心を動かすことはできません。

そこで当委員会では「道徳観」に焦点をあてて「心の育成」をはかる研修を行って参ります。心の育成をはかることでしっかりとした道徳観に基づいた行動ができる姿勢に変わります。それは、“この人たちがやっていることなら”と信頼のある人になるということです。そのためには、「人として」どうあるべきなのか、「人として」どう振舞うべきなのか、「人として」正しいことは何かと常に自分に問い続ける意識が必要です。私たちは、まず、大人になるにつれて忘れてしまいがちな道徳観を持つことの重要性、必要性を改めて強く認識する機会を作ってまいります。

また、人はそれぞれ様々な価値観や考え方をもっています。その人の価値観や考え方に触れ、地域の方々の心を動かすために必要なことを互いに共有することは会員同士が同じ方向を向いて地域の方々のことを真剣に考える機会になります。地域の方々とどのように関わっていったらいいのかについて自分一人では解決できなかった問題も、会員間で共有することで様々な意見を得ることができることでしょう。

人の心を動かすということは決して簡単なことではありません。

しかし、地域の方々の共感を得るためにどうしたらいいかと常に考え、自分自身の心を豊かにして、「誠の心」を纏った行動に変わったとき、地域の方々の心にも必ず届くはずだと確信しています。

一年間、宜しくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 会員の心の育成に関する調査・研究・計画・立案・実施
- (2) 3月例会の調査・研究・計画・立案・実施
- (3) 5月例会の調査・研究・計画・立案・実施
- (4) 会員の拡大に関すること
- (5) 中期運動指針に関すること
- (6) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること
- (7) 全国大会さいたま中央大会に関すること

基本方針

拡大実行委員会 委員長 本田 洋明

拡大実行宣言

～誠心誠意の想いこそが、ひとの心を動かし、ひいては地域を変える糧となる～

公益社団法人春日部青年会議所は愛する郷土の発展と人間性の向上という創始の理念のもと、これまで半世紀以上にわたって「市民意識変革運動」を継続して行ってきました。しかし、20歳から40歳までの青年経済人によって組織される青年会議所においては、40歳を迎えればどんなに素晴らしい能力や情熱を持っているメンバーであっても卒業を迎えてしまいます。そのような中、これまで春日部青年会議所が絶えず社会情勢の変化にのまれることなく、力強い運動を継続して展開してこられたのも、率先してこの青年会議所の意義や魅力を地域の青年経済人へ伝播し、会員拡大という形で、この地域を愛し、この地域の発展を願い行動する人財を生み出し続けてきた先輩方の情熱と行動によるものだと考えます。本年度、拡大実行委員会は先輩方の想いをしっかり継承し、会員拡大の実行によりこの地域の更なる発展に寄与すべく邁進してまいります。

この地域の現状を見たとき、私たちと同世代にあたる責任世代の多くが、地域やそこに住まう人々の現状の問題に対して無関心であると感じます。このような地域への無関心を解決するにあたり、会員拡大により青年会議所の価値観を共有できる仲間を増やすことが重要であると考えます。青年会議所の会員拡大は、この地域の問題に強い関心を抱き主体的に取り組む青年経済人を増やすことに他ならず、最も直接的な市民意識変革運動と言えるからです。

拡大実行委員会は、拡大運動を、この地域を明るい豊かな社会に近づけるための最も効果的な営業と捉え、拡大訪問や春日部青年会議所の魅力発信ができる機会を最大限利用し、より地域の人々から理解と賛同を得られるよう、プレゼンテーションを行って参ります。特に拡大訪問時に限って言えば、その訪問したメンバーひとりひとりが、春日部青年会議所の顔として見られると言って過言ではありません。あいさつや名刺交換の仕方から、パンフレットの魅せ方ひとつひとつにこだわり、限られた時間で無駄なく余すことなく青年会議所の意義や魅力を伝えられるよう徹底します。青年会議所に入会すれば、まちづくりやひとづくりといった地域への貢献活動をしながらも、日常のみでは得難い様々な気づきや経験を得られ、多くの仲間とつながることができる、そんな青年会議所の魅力を誠心誠意伝えることにより、地域の人々の心を動かし、一人でも多くの入会者を迎えられるように委員会のみならずLOM一丸となって精一杯拡大運動に努めます。

さらに、会員拡大により新たに加わったメンバーにいち早く活躍いただき、様々な気づきを得て成長してもらうために、拡大実行委員会は入会後のメンバーに対しても誠心誠意サ

ポートに努めます。様々な事情で入会しても青年会議所の活動の魅力や真髄に気づくことができないという方がいるのも事実です。この点、しっかりと私達の新しい仲間が青年会議所の魅力や気づきを実感してもらえるように、積極的に働きかけ、組織のボトムアップを図ります。

拡大を実行するということは、会員を単に増やすという意味はもちろんのこと、この地域への関心の芽をより増やし強固なものにしていくということも同時に意味するものと考えます。春日部青年会議所が、拡大を実行することによりこの地域に『誠』を纏った人財を増やし、より力強い市民意識変革運動を行えるよう、一年間全力で拡大実行という担いを務めてまいります。

一年間、宜しくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 会員の拡大に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 12月例会（卒業式）の調査・研究・計画・立案・実施。
- (3) 会員の入会に関する事
- (4) 新入会員のサポートに関する事
- (5) スポンサー制度に関する事
- (6) 中期運動指針に関する事
- (7) 全国大会さいたま中央大会に関する事
- (8) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事

基本方針

キャプテン 西島 一隼

ゴルフを通して深める絆

ゴルフを始めたい、興味があるという方でも、なかなか始めるきっかけがないのではないかと思います。私もゴルフに興味はあったものの、始めるきっかけがなかったのですが、昨年のじゃがいもへの参加を通してゴルフを始めましたところ、その面白さに取りつかれてしまいました。じゃがいもはゴルフを始める絶好の機会となると思いますので、じゃがいもへの参加を通して多くの方にゴルフの魅力を知ってもらい、ゴルフを好きになってほしいと思います。ゴルフ初心者の方にも積極的に参加して頂けるように、練習会も実施したいと思います。

普段の例会や事業ではなかなか外で体を動かすという機会はありませんので、J C活動のみでは、なかなか打ち解けた雰囲気メンバーとの交流を図ることは難しいのではないかと思います。ゴルフという屋外でのスポーツを通して、打ち解けた雰囲気の中で交流することで、メンバー間の親睦をより一層深めることができると思います。

また、じゃがいもは諸先輩方と交流する数少ない機会の一つです。コース上で、また懇親会の席や送迎の車中で、諸先輩方といろいろな話をする中で、多くの学びを得ることができると思います。じゃがいもを通して諸先輩方との交流を図り、親睦を深めて頂きたいと思います。

私自身ゴルフ初心者ですが、一年間宜しくお願い致します。

【事業計画】

- (1) じゃがいも春場所の実施
- (2) じゃがいも秋場所(公益社団法人久喜青年会議所と合同)の実施
- (3) じゃがいも練習会の実施
- (4) 会員との親睦を図ること

基本方針

キャプテン 春木 建

ボールでつなぐ絆

春日部青年会議所サッカー部は先輩方から受け継ぐ「誰でも気軽に参加できる雰囲気・環境作り」を継続しながら、活動を行ってまいりました。サッカーはみんなで楽しめるスポーツです。経験や上手い下手関係ありません。

私自身サッカーは初心者ですが、先輩方の意思を受け継ぎ、未経験者の方でも気軽に積極的に参加できる環境作りを目指していきます。

また普段触れ合うことのない会員、他LOM、OBの方との交流を深める貴重な場所でもあります。たくさんの人たちと交流を深めてもらい、より多くの仲間を作っていただくきっかけになればと思います。

仲間を増やすことによってさらに、人と人の繋がりができて、サッカーを通じたオブザーバー要請や新入会員の入会につなげていければと思います。

春日部青年会議所サッカー部は毎月の練習会や埼玉中央青年会議所との合同練習、全国大会出場など精力的に活動しています。本年度の全国大会こそ決勝トーナメント出場を目指して、春日部LOMメンバー思いを一つにして頑張っていきたいと思います。みんなで全国大会に行きましょう。そして全国大会にいるJCメンバーに会いに行きましょう。そしてかけがえのない仲間を作りましょう。

興味がある、けどなかなか一歩が踏み出せない方に、世界の有名なサッカー選手も愛読していたあの有名なサッカー漫画から一言

「ボールはともだち、こわくはないよ」 大空 翼

一年間、宜しくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 練習会の実施
- (2) 公益社団法人埼玉中央青年会議所との合同練習
- (3) 全国大会への参加
- (4) 会員との親睦を図ること

